

かけ声と多人数 インタラクション

野沢温泉村道祖神祭り
における
御神木の立ち上げ



細馬宏通
(滋賀県立大学)

フィールドワークに臨む前に

はじめに

細馬の関心事

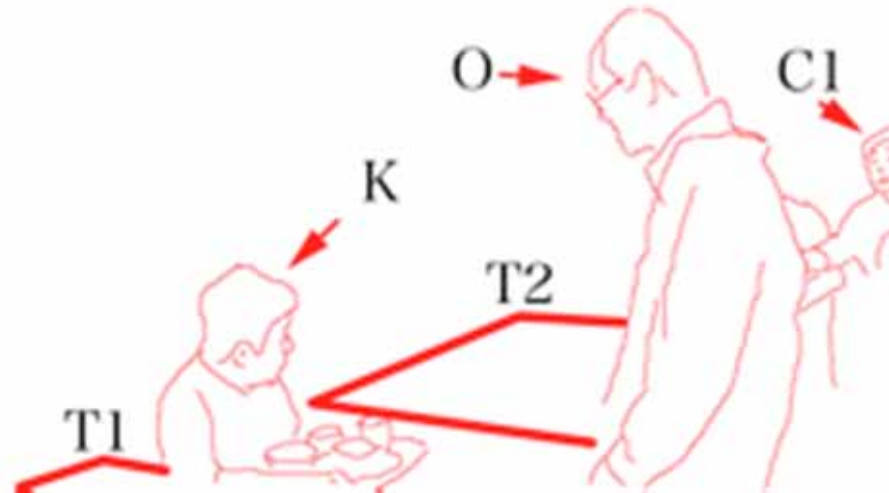
- 短時間のあいだに達成される協調的なインタラクションで、声と身体はどのように用いられるか？
 - 介護場面での立ち上がり
 - 健聴者、ろう者のじゃんけん
 - ページめくり
 - カードの受け渡し(トランプ)
 - 漫才のマルチモーダル分析
 - アンドロイド演劇
 - オノマトペと身体運動との協調的時間構造





- サンドウィッチマンの漫才、コントと観客の笑いを分析。富澤さんのボケだけでなく、伊達さんがつつこむときの微かな体の動きが笑いを産んでいることがわかった。

例:介護場面の立ち上がり行動



- 介護スタッフのC1さんが声をかけると、カワカベさんは卓T2の方に向く。C1さんは、お盆を元の卓T1ではなく、別の卓T2に移動してもらう。カワカベさんはお盆を運ぶ仕事をひとつ前に進めたことになる。カワカベさんの注意はお盆から離れ、両手が空いて、立つことができるようになる。

短時間で達成される 協調的インタラクションの特性(1)

- おおよそのゴールはある。
 - 立ち上がる
 - 同時に手を出す
 - 渡す / 受け取るタイミングを調整する
 - ページをめくる
 - 声とおおよそ同時に身体を動かす
- とりあえずヒューリスティックに始めてみる
 - やっているうちになんとかなる

短時間で達成される 協調的インタラクションの特性(2)

- タイミングを調整するさまざまなオプション(エトセトラ条項)がある。
 - 立ち上がりかけてやり直す
 - 相手が遅れているのを見てかけ声を伸ばす。
 - 相手が構えているのを見てスピードアップする
 - ページの端を寄せる、はじく
 - オノマトペ音韻の長さを調節する etc. etc....

協調的なインタラクションに 必要な機能

- × あらかじめ決められた行動パターンとタイミングに従って、スケジュール通りに実行する
- 相手の行動をモニターしながら、その都度、行動を細分化し、タイミングを調整する。行動パターン内部でも方向や速度の調整を行う。

明らかにすべきこと

- 特定のフィールドにおいて
- どのようなおおまかなゴールがあり
- 個々の行動はどのように細分化され
- 他人の行動の何がモニターされ
- どのようにタイミング調整は行われるか

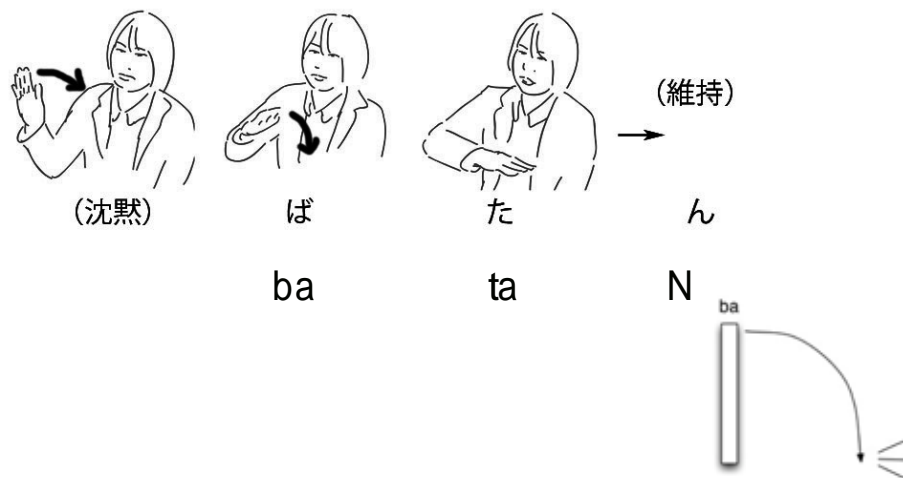
問題点

- 多人数でめいめいがヒューリスティックな行動をとるにもかかわらず、なぜ短時間でゴールへと収束するのか？
- 行動の時空間構造を制約するなんらかの枠組みが必要

Motor coordination hypothesis (Hosoma 2012)

音韻構造が動作の枠組みを提供する

- "ta" is synchronized with the border of the stroke and the hold phase.



多人数インタラクションで、かけ声の音韻構造はいかに行動を制約しているか？

野沢温泉道祖神祭り

- 毎年1月15日に行われる火祭り
- 5本の御神木を中心とした社殿を建て、その火をつける。
- 厄年42歳の前後三年の組、および25歳の組により主な準備が行われる。







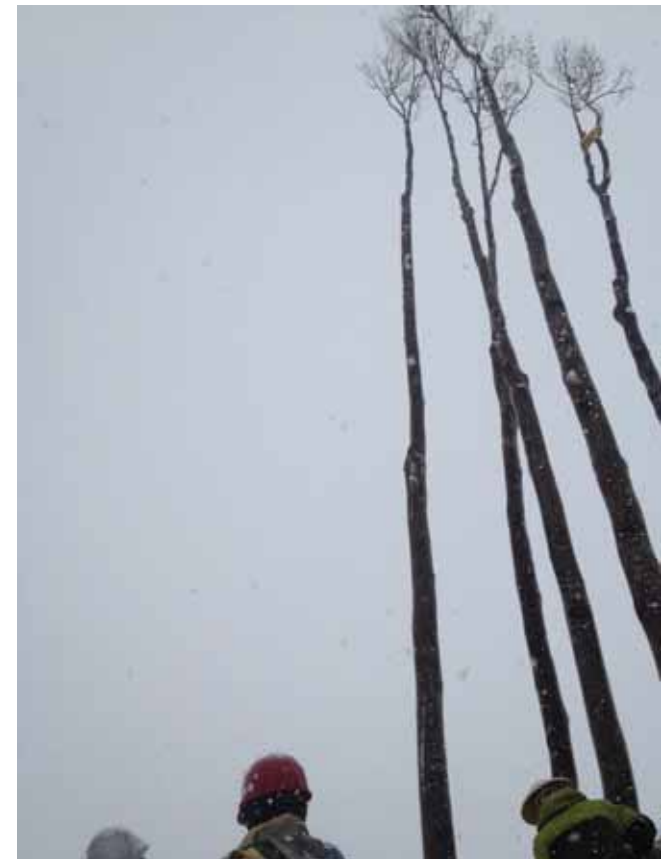
前日の準備：社殿を建てる

- 御神木を建てる。
- 御神木のまわりに垂木を組む。
- 釘は使わず、組み木と縄のみを使う。
- くみ上げには動力は用いず人力で行う。



みどころ

- 「18Mの木を立てる」作業
- 数十人の多人数インタラクション
- 短時間の間に18Mの木というリソースが多焦点化する
 - ―いつ、どこにとりつくか？
 - ―いつ誰がどのような力を込めるか？
- 号令の持つ機能（「よいしょ」「よいやさ」）



御神木を建てる(1)

穴を掘る



穴に添え木を打ち込む



御神木の末端を添え木に当てる



中央付近から綱を何本も引く



小集団1: 木を持ち上げる



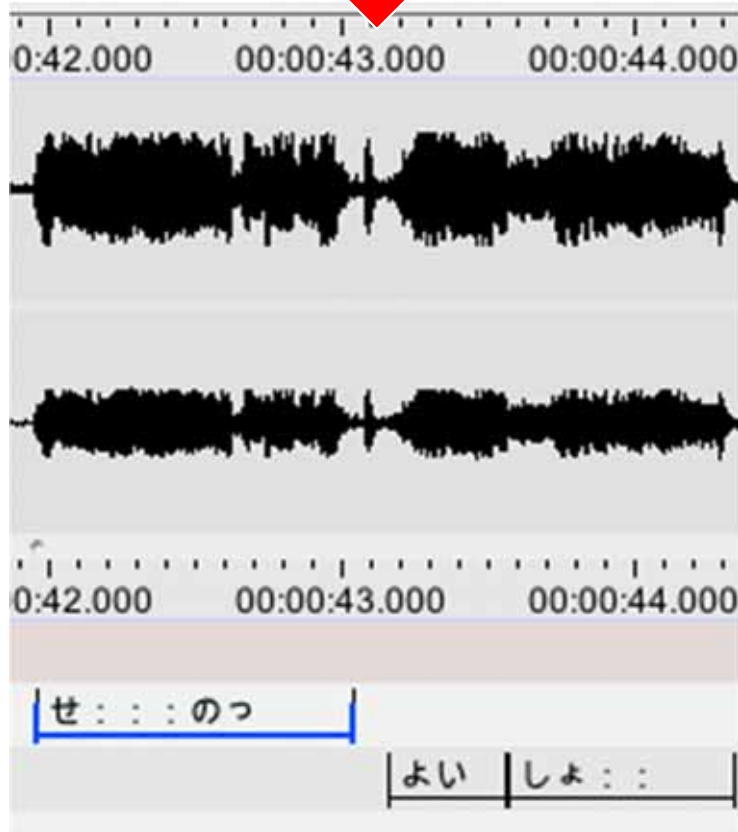
小集団2：綱を引く



小集団3：根元を調整する



「せーの」と「よいしょ」の間に



せーの(間)で起こること

- 腰を落とす
- サスを入れる
- 持ち上げ始め
 - 必ずしも全員がまったく同じタイミングで動いているわけではない。

「よいい」



「しよ」



「よい」と「しょ」の細分化(1)

- 「よい」: 必要な高さに上がっている
- 「しょ」: 放り上げ
- 生じた余白に向かって移動

「よい」と「しょ」の細分化(2)

- 「よい」でサスを前に移動
- 「しょ」でサスを持ち上げ
(H:10:22)



かけ声はなぜ複数の音韻でできているか？

- 行動の時間枠を設定
- 時間枠の使い方は、持ち場や相互の関係によって変化する
- 行動の方向、速度の急激な変化点として音韻の区切れ目が使われる
- 声のMotor coordination hypothesis (Hosoma 2012)

